



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月13日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東
 コード番号 3041 URL http://www.beauty-kadan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 舛田正一
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長 (氏名) 三島まりこ (TEL) 096-370-0004
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	1,244	△6.0	△85	—	△55	—	△58	—
2020年6月期第1四半期	1,324	△6.1	△77	—	△74	—	△62	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 △58百万円(—%) 2020年6月期第1四半期 △62百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	△14.50	—
2020年6月期第1四半期	△15.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	2,332	285	11.2
2020年6月期	2,197	343	14.6

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 262百万円 2020年6月期 320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、配当につきましては、健全な財務体質を堅持するため持続的な成長に必要な十分な株主資本の水準を保持し、企業価値向上と株主の皆様への利益還元のパランスを最適化することを基本に、原則として連結配当性向30%を目安とし、決定することとしておりますが、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が今後も続くことが想定されるため、配当予想につきましては、2020年8月14日に一旦未定としておりましたものの、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

新型コロナウイルスの影響により、2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的に算出することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能になった段階で、速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期1Q	5,076,000株	2020年6月期	5,076,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	1,026,552株	2020年6月期	1,026,552株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期1Q	4,049,448株	2020年6月期1Q	4,049,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の制約を受けた結果、企業収益や個人消費は大幅に落ち込み、緊急事態宣言解除後は徐々に回復の兆しがみられるものの、感染症の再拡大が懸念される中非常に厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループはコロナ禍の影響への各種対策を講じてまいりましたが、各事業ともに業績低下を補うには至らず、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,244,436千円(前年同期比6.0%減)、営業損失は、主に上述の売上減の影響により85,313千円(前年同期は77,210千円の損失)、経常損失は55,815千円(前年同期は74,376千円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は58,710千円(前年同期は62,432千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、707,201千円(前年同期比6.8%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の2020年7月から2020年8月までの売上高は減少、取扱件数は横ばい傾向で推移しており、引続き葬儀単価の低下に加えコロナ禍によって、参列者の減少や葬儀規模の縮小に拍車がかかり売上は減少している状況です。

このように葬儀業全体では市場は今後も拡大傾向にある一方で、特に大都市圏において「家族葬」や「密葬」、「一日葬」等葬儀の小型化とともに単価の下落傾向が続いており、地方都市におきましてもこの傾向が徐々に顕在化しております。

このような状況の中で、当事業では、葬儀の縮小傾向に対応した新たなサービス展開への準備や新商品開発を進めてまいりましたが、その効果が顕在化するには至らず、またコロナ禍による原価高騰が影響し営業利益は14,595千円(前年同期比73.4%減)となりました。

(生花卸売事業)

生花卸売事業は、100%子会社であるマイ・サクセス株式会社において、これまで進めていた業務効率化に加え、当社グループとしての更なる競争力強化を図っており前期はその効果が顕在化いたしました。当期間におきましては、販売単価は上昇したもののコロナ禍の影響により輸入販売数量が減少し、売上高は387,479千円(前年同期比2.7%減)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(2020年9月)によると、2020年7月から2020年9月までの切花累計の取扱金額は15,131百万円(前年同期比1.6%減)、数量では217百万本(前年同期比8.8%減)と金額ベース、数量ベースともに減少し1本あたりの単価は上昇傾向で推移いたしました。

このような状況の中で、当事業では引き続き生花卸売事業(国内流通)と生花祭壇事業とのシナジー追求を図りながら抜本的な物流体系の改革に向けた取り組みを実行しつつ、合わせてコロナ禍の影響を最小化すべく利益確保に向けた取引に注力した結果、営業利益は10,792千円(前年同期比685.7%増)となりました。

(ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大により本年3月以降結婚式の延期が続き、32,249千円(前年同期比50.2%減)となりました。少子化による結婚件数の減少と、「ナシ婚」ともいわれる婚姻届のみの結婚の増加等により、ブライダル業界の市場規模は縮小傾向にあるものの、晩婚化による結婚式単価の上昇や、ゲストハウス・ウエディングやレストラン・ウエディング等オリジナル挙式志向の高まりを背景に新規参入企業が増加するなど、未だ大きな市場規模が保持されております。このような状況の中、同事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerでは、東京・関西・九州エリアにおける新規顧客獲得と商圏拡大、リテール部門での更なる売上増、及び販管費の圧縮・効率化策を実施いたしました。上記コロナ禍による売上減が大きく影響し、営業損失は32,465千円(前年同期は11,010千円の損失)となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画並びにコンサルタント業務、就労継続支援事業、農業を行っております。当第1四半期連結累計期間においては、各事業ともに総じて堅調に推移したため、売上高は117,506千円(前年同期比14.9%増)となりました。利益面におきましても売上が増加したことにより赤字幅が縮小

し、営業損失は1,819千円（前年同期は12,595千円の損失）となりました。システム開発事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ135,263千円増加し、2,332,510千円となりました。これは主に、現金及び預金、売掛金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ193,986千円増加し、2,047,305千円となりました。これは主に、買掛金、長期借入金の増加によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ58,723千円減少し、285,204千円となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①業績予想について

新型コロナウイルスの影響により、2021年6月期の連結業績予想につきましては、合理的に算出することが困難と判断し、未定としております。今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

②配当の状況について

当社は、配当につきましては、健全な財務体質を堅持するため持続的な成長に必要な十分な株主資本の水準を保持し、企業価値向上と株主の皆様への利益還元のバランスを最適化することを基本に、原則として連結配当性向30%を目安とし、決定することとしておりますが、新型コロナウイルス感染症による業績への影響が今後も続くことが想定されるため、配当予想につきましては、2020年8月14日に一旦未定としておりましたものの、誠に遺憾ながら無配とさせていただくことといたしました。

	年間配当金（円）				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年8月14日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—				
前期実績 (2020年6月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,921	846,136
売掛金	384,697	454,008
商品	25,010	28,552
仕掛品	7,639	1,574
原材料及び貯蔵品	29,996	34,013
その他	39,084	53,464
貸倒引当金	△9,622	△3,263
流動資産合計	1,255,726	1,414,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	646,341	646,844
減価償却累計額	△261,400	△267,933
建物及び構築物(純額)	384,940	378,911
車両運搬具	31,202	30,493
減価償却累計額	△26,972	△26,481
車両運搬具(純額)	4,230	4,012
工具、器具及び備品	149,188	151,818
減価償却累計額	△133,599	△135,202
工具、器具及び備品(純額)	15,588	16,616
土地	221,393	221,424
その他	15,826	15,826
減価償却累計額	△9,498	△9,779
その他(純額)	6,327	6,046
有形固定資産合計	632,479	627,010
無形固定資産		
のれん	11,680	11,263
その他	20,721	17,389
無形固定資産合計	32,401	28,652
投資その他の資産		
差入保証金	52,816	52,420
保険積立金	191,916	186,215
破産更生債権等	19,061	11,190
その他	24,311	23,724
貸倒引当金	△11,467	△11,190
投資その他の資産合計	276,638	262,359
固定資産合計	941,520	918,023
資産合計	2,197,247	2,332,510

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,196	185,234
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	203,810	192,692
1年内償還予定の社債	7,100	7,100
未払金	70,797	56,776
未払法人税等	8,520	6,474
未払費用	114,274	102,620
賞与引当金	11,977	28,687
資産除去債務	10,000	10,000
その他	123,042	110,219
流動負債合計	1,065,718	1,099,805
固定負債		
社債	14,500	10,950
長期借入金	683,185	848,629
リース債務	9,510	7,131
退職給付に係る負債	63,132	63,517
資産除去債務	17,272	17,272
固定負債合計	787,601	947,500
負債合計	1,853,319	2,047,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	142,056	142,056
利益剰余金	194,188	135,477
自己株式	△228,633	△228,633
株主資本合計	320,851	262,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△32	△36
その他の包括利益累計額合計	△32	△36
非支配株主持分	23,109	23,101
純資産合計	343,927	285,204
負債純資産合計	2,197,247	2,332,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	1,324,334	1,244,436
売上原価	1,158,894	1,116,055
売上総利益	165,440	128,381
販売費及び一般管理費	242,651	213,694
営業損失(△)	△77,210	△85,313
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	14
受取賃貸料	443	262
補助金収入	1,472	30,459
為替差益	646	718
その他	2,960	1,712
営業外収益合計	5,539	33,168
営業外費用		
支払利息	2,423	2,952
その他	281	717
営業外費用合計	2,705	3,669
経常損失(△)	△74,376	△55,815
特別損失		
固定資産除売却損	77	66
特別損失合計	77	66
税金等調整前四半期純損失(△)	△74,453	△55,881
法人税、住民税及び事業税	4,011	2,837
法人税等調整額	△16,032	-
法人税等合計	△12,021	2,837
四半期純損失(△)	△62,432	△58,719
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	△8
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,432	△58,710

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純損失(△)	△62,432	△58,719
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△4
その他の包括利益合計	△6	△4
四半期包括利益	△62,438	△58,723
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△62,438	△58,714
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年9月25日 定時株主総会	普通株式	12,148	3.00	2019年6月30日	2019年9月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	758,985	398,380	64,711	1,222,077	102,257	—	1,324,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,205	194,066	211	195,483	6,775	△202,258	—
計	760,191	592,446	64,922	1,417,560	109,033	△202,258	1,324,334
セグメント利益 又は損失(△)	54,838	1,373	△11,010	45,201	△12,595	△109,816	△77,210

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,816千円には、セグメント間取引消去11,777千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,594千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	707,201	387,479	32,249	1,126,929	117,506	—	1,244,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,139	205,924	415	208,479	10,056	△218,536	—
計	709,340	593,403	32,665	1,335,409	127,563	△218,536	1,244,436
セグメント利益 又は損失(△)	14,595	10,792	△32,465	△7,077	△1,818	△76,417	△85,313

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業、冠婚葬祭に関する企画及びコンサルタント事業、就労継続支援事業並びに農業であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,417千円には、セグメント間取引消去13,298千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,715千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症拡大による影響に関する会計上の見積り及び仮定並びに業績への影響について、重要な変更はありません。